

一級建築士免許申請書

〔記入注意〕 数字は算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中に✓印を付けてください。
外国の建築士免許を受けた方は、「試験」の欄に、その免許の名称、免許者名及び免許の年月日を記入してください。

私は、一級建築士の免許を受けたいので、戸籍謄本(抄本)及び登記事項証明書を添え、申請します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

平成 年 月 日

国土交通大臣 氏名 (署名)
中央指定登録機関 殿
公益社団法人日本建築士会連合会

ふりがな 氏名	生年月日		昭和 平成	年	月	日生	写真貼付欄 注意 1. 申請者本人のみ 2. 6ヶ月以内に撮影したもの 3. 正面、無帽、無背景 4. 縦45mm×横35mm * 写真の裏面に申請都道府県名と氏名を記入してから、のりでしっかりと貼り付けてください。 * 顔の大きさは灰色部分程度のものとして下さい。 * 貼付した写真はカードに転写されます。
本籍	性別		男	女	□	□	
現住所	〒 電話						
試験	一級建築士試験に合格した時期		平成	年	合格証書番号	第 号	

欠 格 事 由	1 後見開始又は保佐開始の審判(禁治産又は準禁治産の宣告もこれに該当するとみなされます。)を受けていますか。	いる	□	いない	□
	2 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 あるときは、その罪及び刑 あるときは、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日 年 月 日	ある	□	ない	□
	3 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。 あるときは、その罪及び刑 あるときは、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日 年 月 日	ある	□	ない	□
	4 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 あるときは、その日 年 月 日	ある	□	ない	□
	5 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間 年 月 日から 年 月 日まで	ある	□	ない	□

※ 審 査	登録免許税	經由庁	写真照合	戸籍照合	登記照合	合格者名簿照合	欠格審査	副申審査	名簿登録	免許証発行	※經由庁記載欄 責任者(職氏名)印

※登録番号	※登録年月日	平成 年 月 日	※都道府県受付番号
-------	--------	----------	-----------

登録免許税納付書領収証書・振替払込受付証明書 貼付欄
 ※ここには原本を貼り付けてください。
 ※貼る前に必ずコピーをとり保管しておいてください。